

令和6年度 浜松市立北部中学校 学校評価報告書

1 自己評価の結果より

(1)生徒用アンケート

○「当てはまる」と「やや当てはまる」で85%を超えたものは

・私は、授業に意欲的に取り組んでいる。	91.9%
・先生は、分かりやすく授業を進めている。	89.5%
・先生は、授業で話し合ったり、友達と力を合わせて取り組んだりする機会をしっかりと設けている。	89.5%
・先生は、授業で、自分の考えをまとめる機会をしっかりと設けている。	97.6%
・私は、部活動(校外活動)に目標をもって取り組んでいる。	97.7%
・私は、気持ちのよいあいさつを進んで行っている。	93.9%
・私は、学校での自分の役割(委員、係、清掃等)に積極的に取り組んでいる。	86.8%
・私は、時間や学校のきまりを守り、規則正しい生活をしている。	93.6%
・私は、登下校や家庭生活において、交通マナーをしっかりと守っている。	91.9%
・私の学級、学校は安心できる場所だと感じている。	98.3%
・先生は、学校生活の中でよく声をかけてくれている。	86.4%
・学校は、情報をたよりなどでわかりやすく発信している	90.7%
・私は、北部中学校での学校生活は充実していると感じている。	94.2%
	92.8%

- 家庭学習する時間を確保していると答えた生徒は、65%程度であった。また、SNS等の節度をもった利用ができていると答えた生徒が85%を下回り、昨年度よりもやや低くなっている。

□考察

先生方の取り組みの成果で、学校行事や授業での成長や価値を感じている生徒が多い一方で、学校を離れた場所での自己規律が確立できていない。

(2)保護者用アンケート

○「当てはまる」と「やや当てはまる」で85%を超えたものは

・お子さんは、登下校や家庭生活において、交通マナーを守っている。	87.0%
・お子さんの北部中学校での学校生活は充実している。	87.3%
・学校行事は、お子さんの成長をうながすものになっている。	94.0%
・学校は、命の大切さについて教えている。	88.8%
・学校は、社会のルールやマナーについて伝えている。	93.7%
・学校は、いじめのない集団作りに努めている。	89.2%
・学校は、生徒一人一人の理解に努めている。	85.5%
・学校は、三者面談等の充実にも努めており、相談しやすい。	86.9%

- 学校教育目標を意識した教育活動ができていると感じられる割合が85%を下回り、昨年度よりも低くなっている。

□考察

学校の取組には高い評価をしているが、教育活動の成果について、子供の姿からは感じにくいようである。

(3)教師用アンケート

○「主体的・創造的・協働的に学習に取り組めるような授業を行っている」と答えた 職員が昨年度と変わらず、95%を越える割合である。

○「いじめ」について

- ①絶対に許されない、卑劣な行為で、どの子供にも起こりうるという認識
- ②未然防止、早期発見、早期対応
- ③温かで優しい人間関係を築き、いじめをしない、許さない、立ち向かう子供の育成
- ④地域や家庭と一体になって、協力して一刻も早い解消に向かう姿勢

以上の4つの項目は、ほぼ全員が「あてはまる」という回答で、大変高い数値を示し、「あまり当てはまらない」「当てはまらない」という答えが見受けられなかった。

□考察

今年度も大多数の職員が更なる授業改善を図り、学習指導要領や学校教育目標を意識した活動を実施することができていた。また、いじめに対する関心度は大変高く、実際の生徒指導においても、生徒や保護者との関わりを大切にしながら、全職員で行うという態勢のもと、即対応、即指導が徹底されている。

2 学校関係者評価

2月7日(金)に開催した学校運営協議会において、自己評価結果、考察及び改善方策について委員に報告。委員からは以下のような意見があった。

- ・いじめについて、生徒間のトラブルに対しては、被害者はもちろんのこと加害者のケアに努めるなど、先生方がとても寄り添っていることが感じられる。
- ・スマートフォンを所有している生徒が多くなってきており、SNS などを通じたトラブルが懸念される。先生方には、より敏感に生徒の変化を捉え、迅速に対応していくことが必要になると思われる。
- ・思春期の難しい心の揺れに対して、フォローや声掛けを上手にしてもらいながら、生徒の成長を促す活動ができていると感じる。先生方が生徒目線になってきている。
- ・行事に取り組む姿を見ると、生徒がその意義や価値を感じていることがよくわかる。伝統が引き継がれ、よりよい活動へと変わってきていることが感じられる。生徒のアンケート結果は、それらがよく表れていると思う。

3 学校関係者評価を受けて

学校関係者評価を基に、以下の点について改善を図る。

- ・学校での生活に対して、生徒が自らから意欲的に取り組める活動になるように投げ掛けをし、価値付けをしていく。また、学校への意識が大変高い保護者や地域の方々に、可能な限り学校を開放し多くの方に自らを高めようとする生徒の姿を参観していただくよう努める。
- ・今年度同様に、生徒や保護者の心に寄り添った丁寧な支援を心掛けていく。特にいじめ問題については、被害と加害の両方の立場に立って、役割分担をしながら全職員で迅速かつきめ細やかな対応をする。
- ・コミュニティ・スクールは「キャリア教育推進における重要なツール」と考える。来年度も、北部中の生徒にとってのキャリア教育の進化充実につながる熟議をしていく。